

## プラスチック資源一括回収に向けたサウンディング型市場調査実施結果について

本市では、プラスチック資源一括回収に向けた事業手法の検討を行うため、民間事業者へのサウンディング調査を実施しました。

調査結果については、以下の通りです。

### 1 実施の経過

時 期	内 容
令和8年2月27日(金)	サウンディング型市場調査実施の公表、及び受付開始
令和8年3月13日(金)	エントリーシート提出期限
令和8年3月25日(水)	ヒアリングシート提出期限
令和8年3月30日(月) ~ 令和8年4月3日(金)	個別対話実施期間

### 2 調査結果

#### (1) 参加申込者数

4社(事業者)

#### (2) 調査方法

ヒアリングシートの提出および個別対話の実施

#### (3) 調査結果

民間事業者と連携することで、プラスチック資源循環法に基づき市が独自に再商品化事業者を選定・国の認定を受けて資源化を行う手法(以下、「認定ルート」という)を活用したプラスチックのリサイクルが可能であることが確認できました。

また、認定ルートを活用することで、令和12年4月からプラスチック資源一括回収事業が開始可能であることを確認しました。

この度の調査を通じて得られた知見を参考に、連携事業者の選定に必要な公募要領をまとめていく予定です。

### 3 意見の詳細

ヒアリング内容	主な意見
受入可能なプラスチック資源の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公)容器包装リサイクル協会への引き渡しガイドラインに準じる (複数)</li> </ul>
受入条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異物除去あり(複数)</li> <li>・ 圧縮梱包あり(複数)</li> <li>・ 圧縮梱包無し(条件付複数)</li> </ul>
受入可能量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全量対応可能(複数)</li> </ul>
再商品化手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マテリアルリサイクル(複数)</li> <li>・ ケミカルリサイクル[コークス炉等](複数)</li> </ul>
再商品化に要する費用の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (公)容器包装リサイクル協会の落札価格や大臣認可条件を踏まえて設定 (複数)</li> <li>・ 処理経費は年々高騰している (複数)</li> <li>・ 圧縮梱包の有無によって、要協議 (複数)</li> </ul>
施設が故障した場合の受入対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社施設内の複数ラインやグループ内で対応可能 (複数)</li> </ul>
その他、事業実施に向け連携可能な事項について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル実証実験には協力可能。その際、今後の啓発に向けての再商品化物の提示も可能(複数)</li> </ul>

問い合わせ先

担当課：芦屋市

市民生活部 環境・経済室

環境施設課

住 所：兵庫県芦屋市浜風町3 1 番 1 号

電 話：0797-32-5391

メール：kankyousyori@city.ashiya.lg.jp